

ランクルが歩んだ歴史

トヨタのモデルの中でもっとも長い期間に渡ってモデル名が使用されるランドクルーザー。flexdreamでは各年代のモデルを多数揃えている。由緒正しいランクルの歴史に迫っていきましょう。



1951 ランドクルーザーの前身が誕生

戦後間もない時期に警察予備隊と当時日本を統治していた米軍の要請で開発されたのが「トヨタジープBJ」。ランドクルーザーの前身だ。ウィリアム社が「ジープ」という名前の商標権を主張し、1954年に「ランドクルーザー」へと改名。

1955-1960 改名を受けてのフルモデルチェンジ

ランドクルーザーへの改名によって、長いランクルの歴史の幕開けを迎えた。それに際して「ジープBJ」からフルモデルチェンジを行ったランクル20系がデビュー。その後、北米輸出向けとしてFJ30系もラインナップに顔を連ねることになる。

1960-1984 ラインナップの拡充

ランクル20系の後継として誕生したランクル40系はデビュー当初からショートノック・ミドルノック・ロングノックのハードトップと3型がラインナップ。この当時からランクルは「本格派のクロカン」と「兼用向け四駆」と2モデル同時販売をスタートさせる。



1967-1980 高級志向SUVの先駆的モデル

ランクル40系のロングボディ「FJ45V」の後継として誕生した「FJ55V」。現在の高級SUVの先駆けとなったモデルで、先述の2モデル同時販売で40系と並行して販売された。当時の世情もあってあまり人気は出ず、国内で見つけることは困難。



1980-1989

丸目を持った超人気モデル

ランクル56系の後継で「静粛性と乗り心地を兼ね備えた四輪駆動車」というテーマを持つ。ランクルの歴史の本流の中では丸目モデルを持つ最後のモデルということになる。ランクル40系から70系へ世代交代した間に並行販売されていた。



1984-2004

高い走破性と耐久性を備えた原点的モデル

高い走破性と耐久性を持った本格SUVとしてデビューした70系は40系の後継モデル。同モデルのデビュー30周年を記念して、一年間限定で国内での複製再生産をした異例のモデル。海外では引き続き販売が継続され、高い人気を誇る。



1990-1997

「FD-classic」を最初に打ち出したモデル

60系の後継モデルに当たる80系は様々なスタイルにカスタム可能な点が人気を手伝って、幅広いユーザーに愛される車種。flexdreamが「FD-classic」を打ち出したのも、この年代のランクル80系が初めて絶大な人気を獲得した。



1998-2007

モデルチェンジ後も高い人気を誇るモデル

ジープBJから続いた前後のリジットサスペンションを遂にアップデートした、革新的モデル。現行の200系にその座を譲ったものの、根強い人気がある。現在「FD-classic」にもっとも手頃で対応しているモデルだといえる。



憧れのランクルライフを手に入れる FD-classic という選択肢



かっ丸目ヘッドライトに換装してオーバーフェンダーを取り外し、ビンテージ車調の雰囲気に近づけている。しかし、駆動系や旧車にはあまり望めなかった快適性は上々で、価格帯も抑え目という、今と昔の良いところ取りのようなクルマなのだ。

このカスタムは例えるならばアメリカのジーンズに似ている。ビンテージをオマージュしつつも現代のアイデアや技術が巧妙に取り入れられている。この選択肢があれば今まで憧れだったランクルライフもグッと身近になるはずだ。

そんな状況の打開策となるのがランクル専門店「flexdream」が打ち出した「FD-classic」だ。これは比較的新しい1990〜2000年代初めまでの「チョイ古」のランクルをカスタムでクラシカルに仕上げるというもの。ヘッドライトを1980年代のランクル60系までにしか

国産旧車はしばしば憧れの対象にされることがある。しかし、古い年式故にかかる手間や希少性の高さから来る価格の高騰もひとしおだ。特に近年では国産旧車のカテゴリーの中でオフロード車はアウトドアブームが手伝って、手が出しにくい状況となっているように感じる。ランドクルーザーはまさにその代表格。当然のことながら古いモデルになればなるほど状態の良い車種は見つからないし、例え見つけたとしてもギョツとする程のプライスが付けられていることもしばしば。

ちょっと古いをさらに古くランクルカスタムの新提案

オフロード車の名作「ランドクルーザー」。ジープBJに端を発する同モデルはビンテージ車調の人気の極めて高い。しかし、状態や価格、購入後の手間を考えると気が引ける部分もある。そんなランクルを巡る状況に一石を投じるのがここに紹介する「FD-classic」という選択肢だ。

Photo_Kiyoshi WADA Text_Ryoma WATANABE



オフロード車をオフロード車たらしめるのは多少の悪路もモノともしない走破性。一般車では走ることが難しい道も往くことができるのだ。



クラシカルなフェイスデザイン

クルマの中でもとりわけ旧車の世界では、丸目のヘッドライトが好まれる傾向がある。ここで紹介している車種はよりビンテージの表情に近づけるために、丸目に換装されている。

クラシカル雰囲気を持つFD-classicの車種はオトナの遊びの良きパートナーにこそ相応しい。キャンプにサーフィン、クルマ旅、思い思いの遊びと思いを詰め込んで走り倒して欲しい。



憧れをカタチにするランクル専門店

Shop List

ここまで紹介してきたランクルはflexdreamが展開する以下の専門店で見ることが出来る。FD-classicだけではなく、多種多様なランクルも取り揃えているため、まずは足を運び実車をその目で確かめて欲しいのだ。

01



ランクル調布店
住所 〒182-0022 東京都調布市国領町1-17-1
TEL 042-486-8887
営業時間 10:00~20:00
Blog http://blog.goo-net.com/flex_choufu/
Facebook <https://www.facebook.com/flexdream.lanclu.choufu>

02



ランクルさいたま北店
住所 〒343-0002 埼玉県越谷市平方2158-1
TEL 048-970-6868
営業時間 10:00~20:00
Blog http://blog.goo-net.com/flex_saitamakita/
Facebook <https://www.facebook.com/flexdream.lanclu.saitamakita>

03



ランクル湘南厚木店
住所 〒243-0023 神奈川県厚木市戸田1280-1
TEL 046-258-6480
営業時間 10:00~20:00
Blog http://blog.goo-net.com/flexdream-lanclu-shonan_atsugi/
Facebook <https://www.facebook.com/flexdream.lanclu.shonan.atsugi>

04



ランクル小牧店
住所 〒485-0071 愛知県小牧市弥生町18-1
TEL 0568-76-0977
営業時間 10:00~20:00
Blog <http://blog.goo-net.com/flexkomaki/>
Facebook <https://www.facebook.com/flexdream.lanclu.komaki>

その他のサービスも多角的に展開

※定休日は全店舗共通で水曜日(祝日の場合は営業) URL:<https://www.flexdream.jp/>

- [ハイエース湘南厚木店] 〒243-0023 神奈川県厚木市戸田1280-1 TEL046-258-6480
- [ハイエース高崎店] 〒370-0851 群馬県高崎市上中居町377-5 TEL027-387-0819
- [ハイエース小牧店] 〒485-0071 愛知県小牧市弥生町18-1 TEL0568-76-0977
- [USTヨタ専門アップルさいたま岩槻店] 〒339-0042 埼玉県さいたま市岩槻区府内2-1-7 TEL048-797-2700
- [買取専門アップル船橋店] 〒274-0822 千葉県船橋市飯山崎町1-218 TEL 047-460-2208
- [買取専門アップル加須店] 〒347-0006 埼玉県加須市上三俣2044-1 TEL 0480-63-1190

まだまだあるFD-classic Stock List

FD-classicのカスタムが施された車種は実は各店舗にまだまだある。その中からほんの一部だがピックアップしてご紹介しよう。



LAND CRUISER 80 VX-LTD
199.8万円(ランクル調布店)

年式:平成8年
色:ベージュ
走行距離:11万1000km
排気量:4500cc



LAND CRUISER PRADO TX ワイド
179.8万円(ランクルさいたま北店)

年式:平成12年
色:マスタード
走行距離:6万3000km
排気量:2700cc



LAND CRUISER 80 VX-LTD
199.8万円(ランクル湘南厚木店)

年式:平成4年
色:ブラック
走行距離:8万9000km
排気量:4500cc



LAND CRUISER 100 VX-LTD Gセレ
249.8万円(ランクル小牧店)

年式:平成13年
色:アーミーグリーン
走行距離:9万6000km
排気量:4700cc

FD-classicの真髄に迫る

前ページで大きく取り上げた「FD-classic」が実際にどのようなものか、実際の車輛の紹介と仕掛け人であるflexdreamの代表藤崎氏にインタビューを行い、その真髄に迫って行こう。



LAND CRUISER 100 VX-LTD Gセレ
249.8万円

1オーナー、総経路2.5万キロの極上コンディションの個体をFD-classicの意匠によってクラシカルにアレンジ。搭載するのは排気量4700ccのV8エンジンでこちらもコンディションは上々。アルプルーのボディカラーがレトロな空気感を高めている。

問い合わせ先:ランクル湘南厚木店 TEL046-258-6480



flexdreamオリジナルのシートカバーはブラウンとブラックのクラシカルなツートンカラー。Gセラらしい高級感を更に高めている。



足置りにはホワイトカラーのDEAN クロスカウンター16インチホイールを装備。走破性も高く、見た目にも目を引くポイントだ。

LAND CRUISER PRADO TX ワイド
179.8万円

乗用として誕生したランクルワゴンシリーズの流れを汲むプラドの95をクラシックにカスタム。定評のある2.7リッターエンジン「3RZ」を搭載し、車体のサイズも一般的なワゴン車とそう変わらないため、オールラウンドなオフ車の中でも手に取りやすい。



ステアリングはより高級感を醸し出すツートーン仕様に交換。こういった細部への気遣いがFD-classicの完成度の高さを感じさせる。



ナローボディのランクルの丸目換装カスタムは実はflexdreamが発祥。丸目に丸みを帯びたボディは新旧の良いところ取りと言えるのだ。

気軽に遊べるクラシックSUV



問い合わせ先:ランクルさいたま北店 TEL048-951-5950

仕掛け人に聞いた「FD-classic」とは

flexdreamの代表にして「ちょっと古いランクルをもっとクラシカルにする」、カスタムの発起人でもある氏が提唱する「FD-classic」。その魅力についてお尋ねした。

このカスタムはお客様の「レトロでお洒落、そして快適性も欲しい」という声を基に始めました。例えば今回紹介している100系や95系プラドの年代は走行距離が少なかったり、カスタムのベース車種になる個体が見つかりやすいんです。それでいて高級車としては比較的手が出しやすいからカスタムを施しても手に取りやすい価格に抑えることができます。カスタムで内装の見た目はクラシカルだけど、比較的年代は新しいので、快適性も確保されています。今では角目が変わってしまいましたが1980年代の60系までは丸目があったり、やっぱりその仕様の人気が高いんです。でも状態が良い個体はなかなか見つからないし、あっても年数が経過すれば故障のリスクも高くなっていくことも多い、なかなか手が出しにくい。そこで以前は80系でこのカスタムを始めたら好評を頂いて、その第二弾としてこの年代の車種でカスタムを打ち出したんです。この年代は高級車とされるモデルなのでカスタムもラグジュアリーものがほとんどです。そんな中、あえて古く見せるカスタムというのはいい意味でかなり目立つと思いますよ。



flexdream 代表取締役
藤崎智和氏